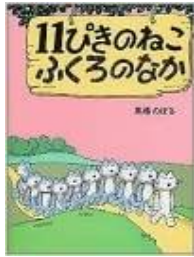




先生のおすすめ絵本



11匹きのねこ ふくろのなか <作・絵> 馬場 のぼる <出版社>こぐま社



11匹のねこが遠足に出掛けると、立札を見つけました。「はなをとるな」と書かれているのを見て、「ひとつならだいじょうぶ」とみんなで花を取ってしまいます。次の「きけん！はしをわたるな」を見つけても「みんなでわたれば こわくない」とつり橋を渡ってしまいました。そして「ふくろにはいるな」の注意書きもお構いなし。袋の中に入ってしまったのです。

ところが、入ったとたん袋の口を締められ、ウヒアハという化け物に捕まってしまいました。さあ、ねこ達は一体どうなるのでしょうか…。

大人気、「11匹きのねこ」シリーズの一冊です。ダメと言われていることを何でもやってしまうねこ達を「だから、ダメだってー！」「もう、いけないんだよー！」と言いながら楽しく見ていたすみれ組の子ども達。反対の動きをする楽しさやいけないことを堂々とするねこ達へのうらやましさもあって、読み終わった後にクラスで反対遊びを楽しみました。何度もリクエストされる楽しい絵本です、ぜひ親子で読んでみてください。

<すみれ組 O 先生>

みどりいろのたね <作> たかどの ほうこ <絵> 太田 大八 <出版社>福音館書店



まあちゃんのクラスでは、みんなで畑にみどりいろのたねを植えました。そのとき、まあちゃんはうっかり口に入れていたためろんあめも植えてしまいます。それから、まあちゃんはなまけもの。植えたあとでも畑に水をあげないので、土の中の種たちは喉が渴いて困ってしまいます。そしてとうとう土の中で種とあめの大げんかが始まり…

もも組の子どもたちも4月、畑にいくつかの野菜を植えました。そんなことあるわけない！と言いつつも、「もも組のみんなで植えたやつも土の中でお話したらどうする！？」「お野菜が甘くなるように餌入れればよかった～！」なんて会話も聞こえてきました。また、「お水あげないと、こんなに苦しくなっちゃうんだね」ということにも気づいたようです。この絵本を通して、自分たちで植えた野菜のことを考え、水やりのお当番活動に気合が入った子どもたち。今は、収穫できる日をとても楽しみにしています。

<もも組 O 先生>

※紙面で紹介している絵本の表紙画像の掲載には、出版社の許諾をいただいております。



読み聞かせノートより



ゆかしたのワニ

<文> ねじめ正一
<絵> コマツシンヤ
<出版社> 福音館書店



ゆかしたにすむワニにぼくがはみがきをする奇想天外なお話。自分より大きいお口の中に入って、大きなブラシでゴシゴシみがいています。すると、突然黒いものを見つけ…ふじさんたちのまるで一緒にワニの口の中に入ったかのようになちよっぴり心配そうなお顔が印象的でした。

<ふじ組 Y さん>

チョコたろう

<文> 森絵都
<絵> 青山友美
<出版社> 童心社



チョコから生まれたチョコたろう。そんなチョコたろうがみんなを笑顔にする為に、チョコを配る旅に出かける物語です。ケンカをしていても、悲しい事があっても、最後には盗賊団まで、チョコのパワーで顔になり、優しい気持ちになっていきます。甘いお菓子がずらり出てくるシーンでは、子ども達の歓声や「食べ過ぎ～！」という声が聞こえてかわいかったです。

<すみれ組 H さん>



編集後記

ぶれーめんの役員になりあらためて、絵本の部屋の本をみていたら、懐かしい本から最新の話題の本までバラエティー豊かさに大人の私も時間を忘れて楽しんでしまいました。まだ絵本の部屋に足を運んだ事のない方、梅雨時期になりお家時間も増えると思います。子供と一緒に絵本の部屋でお気に入りの本を見つけてみませんか。

<もも組 O >